

令和2年一番茶新芽の生育状況

当所では、所内の定点茶園において、一番茶新芽の萌芽※・生育状況について調査を行い、府内生産者や茶業団体等に情報提供を行っています。

本年は、1月(+2.4℃)、2月(+0.7℃)、3月(+1.2℃)の平均気温が平年と比べ高く推移したことから、一番茶の萌芽宣言は平年より6日早い3月30日となりました。

また、気象庁が発表する近畿地方の1か月予報(3月28日から4月27日までの天候の見通し)では、気温は平年並み又は高いとのことなので、新芽の生育も平年並み又は早く進むと予想されます。

なお、萌芽後は耐凍性が落ち、凍霜害に見舞われる危険性が高くなるので、霜注意報や予想最低気温に注意して防霜対策を徹底するようJA、普及センターを通じて、生産者に情報提供しています。

今後は、5日ごとに生育を調査し、HP等を通じて情報発信します。

※ 萌芽：新芽の長さが包葉(芽を包んでいた葉)の約2倍になった状態のこと



萌芽した新芽



萌芽宣言当日、報道関係者取材の様子